

一般質問

市民クラブ

パートナーシップ制度の都市間連携

問 福岡市、熊本市で始まったパートナーシップ宣誓制度の都市間連携に本市も参加する考えはないか。

答 本市では、ことし9月2日からパートナーシップ宣誓制度を導入し、他都市でも令和元年10月までに26の自治体で導入されている。この制度を活用した都市間連携は、相互連携協定を結んだ都市間で転居する場合、転出時の手続きだけで転入先での手続きが不要というものであり、性的少数者カテゴリーの生きづらさを軽減するという制度の趣旨からも有効と考える。

一方で、各自自治体でさまざまな実情に応じて制度が構築されていることから、連携のための課題を洗い出し、都市間での調整や当事者の意見を取り入れながら検討していきたい。

空き家対策

問 老朽危険空き家対策事業の促進のため、事業対象空き家となる測定基準を市民に公表する考えはないか。

答 老朽危険空き家対策事業の対象となる空き家は、実施要綱において「市長が周囲に対して危険性があると判定した木造建築物又は軽量鉄骨造建築物の空き家」と定義しており、今後、空き家の老朽度を判定する基準を市民にわかりやすい形で早期に公表したいと考えている。

また、事業の利用を検討している方が自分で空き家の状況を簡単に確認できるチェックシートのようなものを作成し、ホームページに掲載するなど、工夫を図っていきたい。

給水管や下水道管の破損等への対応

問 私道に埋設されている給水管や下水道管の把握状況と、破損漏水した場合等の市の対応について伺いたい。

答 現在、個人所有の給水管等の詳細な把握はできていない状況であり、令和5年度から運用予定のアセットマネジメント支援情報システムを活用することで、詳細な把握に努めたいと考えている。

また、給水管が破損した場合、市で水道メーターまでの応



急修繕を行っており、漏水防止策として排水管への布設替えについても、要望等に応じて対応を行っている。下水道の整備についても、私道の本管整備に向けて地元住民への働きかけ等を行いながら、上下水道を市民の皆様安心してお使いいただけるよう今後も努力していきたい。

自民創生

中小企業・小規模事業者への支援策

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略を念頭に置いた、中小企業や小規模事業者に対する支援策について伺いたい。

答 本市では、中小企業等の競争力の強化のため、若手技能者への人材育成や、認証制度による販路開拓・拡大、産学連携による新製品・新技術開発等を支援している。また、IoT技術については、製造業以外の業種でも活用可能性があり、今年度からIoT活用による生産性向上の取り組みに対する支援対象を全業種へ拡大した。さらに、地元就職促進のため、企業の魅力を発信する番組の制作や書籍の発行のほか、企業の採用力向上に向けた取り組みも支援している。

今後も、県や関係団体と連携しながら、市内企業がさらなる雇用の受け皿になるよう取り組んでいく。

ローマ教皇訪問を記念した記念碑の建立

問 これまでにお二人のローマ教皇が訪れた唯一の場所である西坂公園に記念碑を建立する考えはないか。

答 11月24日、フランシスコ教皇が西坂公園で殉教者へ祈りを捧げ、県営野球場でミサを開催されたことは、長崎がキリスト教の歴史にとって重要な場所であると世界に示されたものだと考える。

特に西坂公園は、38年前にも当時のローマ教皇が訪れており、お二人のローマ教皇が訪れた長崎唯一の場所として、歴史的価値をさらに高めるものとなった。この日本26聖人殉教の地を改めて発信することは非常に重要であることから、記念碑建立を含め、発信方法などについて関係者と協議を行ってきたい。



来崎されたフランシスコ ローマ教皇